

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成20年5月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第90巻 第2・3号

ISSN 0525-2997

vol.90 no.2・3

物性研究

2008 / 5・6

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 「物性研究」に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。但し、著者が著作物を使用することをさまたげるものではありません。
4. 本誌の論文を欧文の論文中で引用する時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) 76 (2001), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は本文中の該当個所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集後記

本報告書は、研究会をビデオ録画したものから編者が原稿をおこし、それを著者と座長が点検・修正し、編者が最終的な制作を行った。この研究会の1年前に開かれた「学問の系譜 — アインシュタインから湯川・朝永へ —」でも採用されたこの方式は、講演だけでなく議論の詳細も含めて臨場感のある記録を制作し、参加できなかった人たちにも、会場にいるかのような疑似体験を通じて、刺激を最大限に伝えることが目的である。同じ事を述べる場合でも、話者によって話し方、口調が異なり、それを直接体験することは、いわば本を読む場合の「行間を読」ませてもらう恩恵に匹敵する。また、未来の世代に、論文には書けない貴重な情報を提供するという大きな意義もある。

今回は、京都大学学術情報メディアセンターとの共同プロジェクト（マルチカメラ映像からのIT素材の制作研究）としても位置づけられ、会場では計4台のカメラが回されてのものものしかったが、つわもの揃った参加者たちは臆することもなくいつものように自由に議論した。その映像・録音をもとに原稿をおこした。その際、スライド切り替えのタイミングを原稿に埋め込み、一括でTeXのコマンドに変換する方式を採用して、ファイルへのスライド埋め込み作業はかなり合理化された。

しかし総ページ数が400ページにもなり、さらに、編者の1人が指の腱を切るという怪我（キーボード仕事筋肉疲労説）に見舞われるなどの不測の事態もあって、著者校正用原稿の完成は研究会からほぼ1年後になってしまった。それにもかかわらず、著者・座長の方々には丁寧な校正をしていただき、報告書全体の価値を大幅に押し上げていただいた。また、一部の著者からは、校正時に多数の注釈や付記をつけていただいて内容が拡充され、感謝している。

編者による最終作業は、まずはスライドについて、文字の大きさや色使いの面での印刷品質の改善である。しかし、総枚数が700枚にもなるために、ある程度のところで妥協せざるを得なかった。明るいプロジェクタが得られる現在、講演会場を明るくして、白地を基調とするのが見やすいと思われるが、そういうスライドなら印刷原稿に直接変換しやすい。次に、TeXのfloat logicには決して任せられないスライド位置調整を全て手動で行い、空きスペースには恒例となった会場写真の貼り付けをした。最後に総ページ数を16の倍数にして印刷費を節約するための調整…、は結局、一部編集者の思いのたけの大きさの前に失敗に終わった。

なお、以下には、この長大なプロジェクトに関わった編者それぞれの「まとめ」を掲載させていただく。

最後になるが、本研究会の実施と本報告書を制作するにあたって以下の方々、団体の大きな援助をいただいたことをここに感謝します。

- ・京都大学 学術情報メディアセンター：
美濃導彦（センター長），元木 環，岩倉 正司（コンテンツ制作室）：撮影，録音，編集
- ・有限会社アサヒ技研コミュニケーションメディア研究所：八木啓介：撮影プロジェクト
- ・財団法人 三菱財団：助成金「湯川博士と学問の系譜」プロジェクト
- ・オフィス・ロックホップ（金沢）：黒畑彩子：テープからの原稿作成
- ・小林玉青，宮下和洋（金沢大学自然科学研究科）：撮影，会場係
- ・横田清恵（京都大学理学部）：原稿校正
- ・文部科学省科学研究費補助金：
17650237「科学教育におけるITを活用した歴史教材＝「仮想博物館」の開発」
青木健一（代表），五十嵐尤二，伊藤克美，遠藤理佳，小沼通二，登谷美穂子

[2008.1.30 記]

[物性研究]

編集長

村瀬 雅俊 (京大・基研)

編集委員

荒木 武昭 (京大・理・物理)
古賀 昌久 (京大・理・物理)
高橋 義朗 (京大・理・物理)
武末 真二 (京大・理・物理)
松本 剛 (京大・理・物理)
陰山 洋 (京大・理・化学)
遠山 貴己 (京大・基研)
戸塚 圭介 (京大・基研)
早川 尚男 (京大・基研)
森成 隆夫 (京大・基研)
和田 浩史 (京大・基研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
泉田 涉 (東北大・理・物理)
柳瀬 陽一 (東大・理・物理)
波多野 恭弘 (東大・地震研)
笹本 智弘 (千葉大・理・数学・情報数理)
樋口 雅彦 (信州大・理・物理)
小西 哲郎 (名大・理・物理)
湯川 諭 (阪大・理・宇宙地球)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
水島 健 (岡大・理・物理)
柴田 達夫 (広大・理・数理分子生命)
御手洗菜美子 (九大・理・物理)
関本 謙 (Paris 第7大学・物理)
大木谷 耕司 (Sheffield 大学・応用数学)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 90 卷 第 2 ・ 3 合 併 号 (平 成 20 年 5 ・ 6 月 号) 2008 年 5 月 20 日 発 行

発行人 村 瀬 雅 俊

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 ショウワドウ・イープレス
株式会社 田村 徹

〒606-8225 京都市左京区百万遍交差点上ル東側

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

年会費 9,600円

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物性研究 90-2・3 (5・6月合併号) 目次

○研究会報告

「基礎物理学の現状と未来 -学問の系譜・湯川・朝永をうけて-」…… 131

○編集後記…………… 535

物性研究 90-2・3 (5・6月合併号) 目次

○研究会報告

「基礎物理学の現状と未来 -学問の系譜・湯川・朝永をうけて-」…… 131

○編集後記…………… 535